



ふたぼっこだよい

2022年6月13日

No.6

スエ T の科学の時間がありました！

くま組になると、月1回の頻度で早朝保育士の末広 享先生による“スエ T の科学の時間”があります。記念すべき第1回目が3日（金）でした。数日前からワクワクしていたみんな。白衣を着た末広先生がくま組に現れると、「はかせがきたで！！」とっていましたよ。

今回は、科学の中でも【生物領域】のお話で、鳥の鳴き声を聞いたり、野鳥のヒナに出会ったらどうしたらいいかを教えてもらいました。

鳥の鳴き声は、<ウグイス・ホトトギス・カラス・ハト・シジュウカラ・ヒヨドリ・スズメ・ツバメ>の鳴き声を音源から聴かせてもらいました。

ウグイス



豊能町の鳥だよ♪

身体は小さいけど
大きな声が出るよ



シジュウカラ

ホトトギス



卵を温めるのも育てるのも
ウグイスにしてもらうよ

身近なハトには2種類
いて、鳴き方が違うよ

キジバト



カワラバト



カラスも2種類いて、
鳴き方や頭の形が違うよ

ハシブトガラス



ハシボソガラス



最後に、『わたしのことり』という紙芝居を読んでもらい、野鳥のヒナと出会った時にどうしたらいいかを教えてもらいました。ヒナが一匹で地面に落ちていても、近くでお母さん鳥が見守ってくれています。道路の真ん中などの危険な場所でなければ、触らずに見守っていてあげましょう。触ってしまうと、人間のにおいがつき、子育てをしなくなるそうです。

普段何気なく聞こえている鳥の鳴き声にも、耳を澄ますと面白い発見があるかもしれないですね。

ぜひ身近な自然を体験してみてください♪

